

断面計画

ひろばを確保する断面計画

(1) 「段上形状」の庁舎

- ・建物1階の床面積を小さくするとともに、建物全体の面積を確保するため、上層階になるにしたがって床面積が大きくなる段上形状の庁舎とします。段上形状とすることで、ひろばを大きく確保するとともに、庁舎の適正な床面積を確保できる計画とします。
- ・庁舎と（仮称）新福祉会館が重なるエントランス部を3層吹抜けとすることで、開放感、明るさを確保します。また、相互の活動が見えることにより、コミュニケーションのネットワークが広がり、相互利用を促すことで、市民活動を活性化させます。

(2) 「立体的なひろば」が繋がる（仮称）新福祉会館

- ・1階のひろば兼臨時駐車場から外階段を利用して屋上庭園までアクセスできる、「立体的なひろば」を計画します。
- ・（仮称）新福祉会館の1階部分を大きなピロティ空間とすることで、雨に濡れることなく建物にアクセスできる計画とします。

